

日本音楽集団

PRO MUSICA NIPPONIA

高松公演

2021 **12|17**(金) 18:30開演 (18:00開場)
サンポートホール高松 (第1小ホール)

●主催: 特定非営利活動法人 日本音楽集団

●後援:  公益財団法人 日本伝統文化振興財団
JAPAN TRADITIONAL CULTURES FOUNDATION

AFF
ARTS for the future!

企画構成: 原郷 隆
演出: 元永 拓
制作: 久保田 晶子

日本音楽集団
www.promusica.or.jp



日本音楽集団 ～香川再来!～

半世紀以上、パイオニアとして和楽器アンサンブルの分野を牽引してきた「日本音楽集団」が37年ぶりに香川県に帰ってきます。過去には演奏会以外にも、県内の多くの学校で公演を行い、子ども達に和楽器の魅力に触れていただきました。そのような思い出深い香川で再び演奏が出来ることは、私たちにとっても大きな喜びです。今回は「邦楽アンサンブル煌」「香川現代邦楽研究会」の皆様にも花を添えていただき、ゴジラなどの特撮映画音楽「SF交響ファンタジー 邦楽器版」を40名以上での迫力の大合奏でお届けします。日本音楽集団が生み出す至極の和楽器アンサンブルをどうぞお楽しみ下さい。

Program

指揮: 苔米地英一

1. SF交響ファンタジー 邦楽器版

(伊福部 昭 作曲 秋岸寛久 編曲 2007年)

(笙)東田はる奈(助演)〔箏〕柏木 理(助演)〔笛Ⅰ〕新保有生〔笛Ⅱ〕孫 瀟夢
(尺八Ⅰ)原郷 隆/淵上ラファエル広志/饗庭凱山(尺八Ⅱ)元永 拓/田野村 聡/川俣夜山
(胡弓)木場大輔(助演)〔細棹三味線〕杵家七三〔太棹三味線〕簗田弘大〔琵琶Ⅰ〕藤高理恵子
(琵琶Ⅱ)熊田かほり(助演)〔二十絃Ⅰ〕熊沢栄利子/佐藤里美〔二十絃Ⅱ〕三宅礼子/森 真理子
(二十絃Ⅲ)桜井智永/伊藤麻衣子〔十七絃Ⅰ〕久東寿子/丸岡映美〔十七絃Ⅱ〕久本桂子/石井香奈
(打楽器Ⅰ)多田恵子(打楽器Ⅱ)富田慎平(打楽器Ⅲ)白杵美智代(打楽器Ⅳ)盧 慶順

共演: 邦楽アンサンブル煌、香川現代邦楽研究会

(笙)岡 清美(尺八Ⅰ)山辺啓三/大森正裕/草野竜彦(尺八Ⅱ)西森敬二/松田保文/寺石 弘/佃 純一
(三味線Ⅰ)高津和浩〔二十絃Ⅰ〕松永雅史晴〔箏Ⅰ〕笠井桃葉/中塚節子〔二十絃Ⅱ〕山本雅史麗
(箏Ⅱ)池田多代子/巽 美鈴〔二十絃Ⅲ〕高橋雅史晃〔箏Ⅲ〕新田久美子/池田里美〔十七絃Ⅰ〕別府美喜
(十七絃Ⅱ)福家雅史桜〔打楽器Ⅰ〕河野敏明〔打楽器Ⅱ〕佐々木裕健

伊福部先生は、東宝の特撮映画「ゴジラ」「宇宙大戦争」「三大怪獣地球最大の決戦」「怪獣総進撃」などのために書いた音楽を、ご自身の手によってコンサート用に「SF交響ファンタジー」という作品に編曲されています。その第一番を邦楽器版にアレンジしました。原曲の低音金管を中心としたサウンドは、邦楽器からは最も遠いところにあり、無謀なチャレンジかとも思いましたが、上手くいけば新たな伊福部サウンド、新たな音楽集団サウンドが引き出せることと思います。邦楽器は音域が狭く、転調の苦手な楽器がたくさんありますので、原曲とは違った転調を何度も強いられましたが、それでも特に箏群は頻繁な押し手と、煩雑な調絃変えに悩まされるところもあり、アレンジも苦労しました。しかし、アレンジに携わっている間中、何とも言えない充足感、幸福感があり、それは演奏してくれるメンバーや聴いてくださる方々にも共有していただけているものと思っています。

(秋岸寛久・初演時プログラムより)

2. 大津絵幻想 (長澤勝俊 作曲 1981年)

(笛)竹井 誠(尺八Ⅰ)原郷 隆/川俣夜山(尺八Ⅱ)田野村 聡/淵上ラファエル広志(尺八Ⅲ)元永 拓/饗庭凱山
(胡弓)木場大輔(助演)〔細棹三味線〕杵家七三〔太棹三味線〕簗田弘大〔琵琶〕藤高理恵子/熊田かほり(助演)
(箏)熊沢栄利子/佐藤里美/森 真理子〔二十絃〕桜井智永/三宅礼子/伊藤麻衣子
(十七絃)久東寿子/丸岡映美/石井香奈〔打楽器〕盧 慶順/多田恵子

1981年第67回定期演奏会にて初演。江戸時代、近江国(滋賀県)大津の追分周辺で売られてい

た民芸絵画であり、全国津々浦々まで広まり親しまれた「大津絵」。そこには、当時の民衆の哀歓や世相諷刺が、泥絵具を用いてユーモラスなタッチで画かれています。この「大津絵」より5つ、《鬼の念仏》《藤娘》《瓢箪鮫》《長刀弁慶》《雷と太鼓》を題材とし、強烈な画題の奥深くに潜む民衆の誇らない自然の姿、智慧と余裕を日本楽器の音に託し表現されています。作曲者が愛情を持ち続けた日本の民俗芸能や民芸品。それらの持つ原点を拠り所に、我々日本民族の共通項を日本楽器にて表現するという、「人形風土記」より始まる一連の制作姿勢の延長線上に位置する曲と言えます。

3. 二つの舞曲 (長澤勝俊 作曲 1970年)

(笛)新保有生(尺八Ⅰ)原郷 隆(尺八Ⅱ)田野村 聡(尺八Ⅲ)川俣夜山(三味線Ⅰ)杵家七三(三味線Ⅱ)簗田弘大
(琵琶)藤高理恵子(箏Ⅰ)熊沢栄利子(箏Ⅱ)桜井智永(二十絃)三宅礼子(十七絃)久本桂子
(打楽器Ⅰ)盧 慶順(打楽器Ⅱ)冨田慎平(打楽器Ⅲ)臼杵美智代

舞いは「まわる」という語から発生したものであり、踊りは「跳躍」という意味を持っているといわれている。また舞はいくぶん重々しく、踊りは軽快な動きのものが多くともいわれている。しかし私はこの曲の中ではあえて「舞い」と「踊り」の区別はつけなかった。民俗芸能の中にある「舞い」や「踊り」を素材とした自由な舞踊曲であり、民衆の持つたくましいエネルギーを表現したいと希った。一章は深い悲しみと抵抗の曲であるが中間部では明るい明日への夢をうたっている。二章は激しい群舞の饗宴である。なお楽器編成に於ては集団の活動の中から生れて来た二十絃箏を使うことにより箏の中音域での充実と表現の拡大を図った。

(作曲家・初演時プログラムより)

4. ディヴェルティメント (佐藤敏直 作曲 1969年)

(笛)新保有生/孫 瀟夢(尺八Ⅰ)原郷 隆/川俣夜山/饗庭凱山
(尺八Ⅱ)元永 拓/田野村 聡/淵上ラファエル広志(細棹三味線)杵家七三(太棹三味線)簗田弘大
(箏Ⅰ)熊沢栄利子/佐藤里美/森 真理子(箏Ⅱ)桜井智永/三宅礼子/伊藤麻衣子
(十七絃)久東寿子/丸岡映美/久本桂子/石井香奈(打楽器Ⅰ)多田恵子(打楽器Ⅱ)冨田慎平

1969年第10回定期演奏会において、横山千秋氏の指揮で初演された。

第1楽章は長短調のシステムが強く影響しています。その頃の和楽器に対する悩みが、私には今でも手にとるように判る部分です。第2楽章は教会旋法を意識して和楽器の可能性を探った跡があります。第3楽章で少し日本的な色彩が加わりました。いずれにしてもはじめての大合奏でしたので、手探りでの連続でした。それほど昔の作品ですが、いわゆる「邦楽」に対して、音楽に閉鎖的な印象をもっていましたので、何か開放感のある世界が描けないだろうか考えたことを覚えています。

(第159回定期「佐藤敏直氏からのメッセージ」プログラムより)

特定非営利活動法人 日本音楽集団



1964年創立。伝統的な日本の楽器である、箏・尺八・三味線・琵琶・胡弓・笛、小鼓・太鼓などの打楽器、笙・箏などの雅楽器による和楽器オーケストラです。和楽器数十名と指揮者による大合奏は迫力満点です。現在では、定期演奏会を中心に、全国各地での公演、教育機関での音楽鑑賞会、録音・放送・映画・演劇などさまざまな分野で演奏活動を行っています。海外では、ヨーロッパ、アメリカ、ロシア、中国、東南アジア、オーストラリア等、31カ国151都市で公演を実施。アイザック・スターン、ヨー・ヨー・マヤ、ゲヴァントハウス・オーケストラ、ニューヨークフィルとの共演を実現、海外でも高い評価を得ています。文化庁芸術祭大賞、第2回音楽之友社賞、レミー・マタン音楽賞、モービル音楽賞など、受賞歴多数。

◆メンバー(楽器毎五十音順)

笛
あかる 潤
遠藤 悠紀 ※
芝 有維
新保 有生
孫 瀟夢
竹井 誠

簞田 司郎
守 啓伊子
山崎千鶴子

琵琶
久保田晶子
田原 順子
藤高理恵子

指揮
稲田 康
田中 元樹
田村 拓男
苦米地英一

作曲
相澤 洋正
秋岸 寛久
川崎絵都夫 ※
篠田 大介 ※
高橋久美子
福嶋 頼秀

アートマネジメント
大西 愛子 ※

楽器・舞台
中島 隆

名誉代表
田村 拓男

代表
尾崎 太一

副代表
米澤 浩

事務局
中山美穂子

永久名誉団員
長澤 勝俊

☆印は新入団員
※印は休団中
2021年9月現在

笙
三浦 はな

箏
石井 香奈
伊藤麻衣子
岡山 亮子
久東 寿子
熊沢栄利子
桜井 智永
佐藤 里美
島崎 春美 ※
城ヶ崎美保
久本 桂子
丸岡 映美
三宅 礼子
森 真理子
山田 明美
喜羽 美帆
渡辺 正子

箏篋
西原 祐二
三浦 元則

尺八
饗庭 凱山
大賀 悠司
川俣 夜山
阪口 夕山
田野村 聡
原郷 隆
藤崎 重康
洲上ラファエル広志
三橋 貴風
元永 拓
米澤 浩
渡辺 淳

三味線
杵家 七三
長井 麻江
二代目 三山 貢正
穂積 大志
簞田 弘大

香川現代邦楽研究会

1978年に県内の邦楽愛好家が流派を越えて自由に日本の伝統楽器による現代の音楽を勉強してみようと集まり設立。箏・尺八・三味線のほか横笛・琵琶・打楽器、時には雅楽器・洋楽器・語りを交え、日本音楽集団の大会奏曲を中心に演奏している。1979年以降年1回の定期演奏会を40回開催。1998年にタスマニア公演、2002年にメルボルン公演を実施。現在、約30人の会員が所属し、来年7月10日に第41回定期演奏会を開催予定。



邦楽アンサンブルこう煌

片山雅史佑が1975年に設立した箏(十三絃・十七絃・二十絃・二十五絃)と三絃、尺八のグループ。現在、山本雅史麗を中心に、生田流正派邦楽会の職格者、香川大学邦楽部竹友会のOBや現役部員など約40人が所属している。1990年以降これまでに、2年ごとの定期演奏会を15回、サロンコンサートを9回開催。その他、香川県芸術祭の主催公演や、香川県三曲協会、高松市芸術団体協議会の演奏会などに出演。現代曲を中心に研鑽を積んでいる。



◆ 賛助会員へのお誘い ◆

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したことを機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、息の長い活動の定着と発展を目指したく、ご協力をお願い申し上げます。

会費(年会費)

個人会員 10,000円(一口以上)

法人会員 30,000円(一口以上)

(年間3回の定期演奏会への招待状を毎回ご送付)

賛助会員(口数・50音順)

【法人会員】

日凸運送株式会社

【個人会員】

山本福八 伊藤美好 伊藤憲夫 柿崎やよい
佐藤玲子 高倉尚子 友杉 毅 奈良英子
西川浩平 堀 保之 三宅一徳 元永明希
元永美代子 森 繁美 (他 2名)

詳細は日本音楽集団事務局までお問い合わせ下さい。
またホームページでも、お申し込み方法など
詳しくご案内しております。



舞台:株式会社琴光堂
舞台・運搬:株式会社IMS
舞台・受付:田尾和楽器店
撮影:宮崎 登
録音:福嶋頼秀
プログラムデザイン:藤山俊男・森 有加

日本音楽集団
PRO MUSICA NIPPONIA

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビルB1F
TEL:03-3378-4741 FAX:03-3376-2033
HP: <http://www.promusica.or.jp>